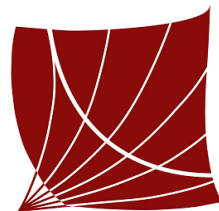


健康
セミナー



消化器外科の役割と最近の話題

滋賀県立総合病院外科医長としてご活躍中の山中健也医師をお迎えし、最新の医療情報や、消化器外科の重要な役割についてご講演いただきます。

地域の皆さまにも役立つ内容ですので、ぜひご参加ください。



講師
山中 健也 医師

滋賀県立総合病院
外科科長

2/15(土) | 14:30開演

参加費
無料

目次

健康セミナー開催	1
消化器外科の役割と最近の話題	
講師 山中健也医師	
毎年恒例	2
獅子舞がやってきた！	
BLS研修を実施しています！	3
看護師・介護員募集	4
心眼力 柔らかく燃えて 生きる30の智慧より *僕を支えた母の言葉*	5
2月のおすすめメニュー 豆乳味噌うどん	6
令和6年度 医療法人敬愛会基本方針	7
編集後記	8

毎年恒例

2025
1/30

獅子舞が やってきた！



1月30日、東近江敬愛病院内にて、毎年恒例、加藤菊太夫組一行の「太神楽」訪問公演が行われました。今年も素晴らしい舞や、パフォーマンスを披露してくださいました。

病院内にがお獅子の軽快な音が響き渡り、力強い踊りが、患者様やご家族、職員達を元気づけました。中でも獅子舞が参加者の頭を噛んで厄を払い、笑顔と笑い声があふれる場面も見られました。

参加された方からは、「毎年楽しみにしている」「伝統文化に触れる貴重な機会」といった声も寄せられ、院内に和やかな雰囲気広がりました。こうした訪問が、病院で過ごす皆様の心の癒しになれば幸いです。



日本医療機能評価機構
認定第JC2398号

救急指定病院
特定医療法人

電話 0748(22)2222
FAX 0748(22)2221
発行責任者：広報委員

BLS研修を実施しています！

当院では、患者さんの命を守るために必要な知識とスキルを習得するため、看護師を対象としたBLS（Basic Life Support：一次救命処置）研修を実施しています。

研修の目的

急変時の適切な対応スキルの向上
チームでの救命処置の連携力を強化
職員全員が自信を持って救命処置にあたる環境づくり

研修内容

心肺蘇生法（CPR）の実技
AED（自動体外式除細動器）の使用方法
緊急時の状況判断と通報手順
シミュレーションを通じた実践練習

参加者の声

「実際にAEDを使用することができて、自信ができました。」
「シミュレーション形式で実践的な内容だったので、学びが深まりました。」
「チームでの役割分担の重要性を実感しました。」

今後の取り組み

当院では、定期的に救命スキル向上のための研修を行い、患者さんや地域社会の安心・安全に貢献していきます。



コミュニケーションを大切にします



看護師・介護員募集

東近江敬愛病院では、患者様やご家族とのコミュニケーションを大切にし、心のこもったケアを提供しています。

働きやすい環境と充実したサポート体制のもと、私たちと一緒に地域医療を支えていきませんか？
まずは、お気軽にお問い合わせください。

求人サイト



就職支度金制度のお知らせ

当院では、以下の条件を満たした方を対象に就職支度金制度を導入しています。新たな職場での生活をしっかりサポート致します！

- 応募方法
当院ホームページを通じて直接応募頂いた方
(電話、メール両方可)
- 条件
1年以上の勤務意思がある方
※人材紹介会社・紹介料の発生する転職支援サイトからの応募は対象外となります。
- 支援金支給について
*入職後1ヶ月後に支給
*1年以上の勤務継続をお約束頂ける方(誓約書記入・捺印、保証人必要)

看護師
(常勤)

200,000円



介護福祉士
(常勤)

100,000円



准看護師
(常勤)

150,000円

マイナビ看護学生
就職セミナー

3/9(日) ピアザ淡海
滋賀県立県民交流センター

当日は、当院の特色や働きやすい環境など、魅力的な情報をお伝えします。

また、先輩スタッフの体験談や皆様の質問にもお答えします！

「東近江敬愛病院」のブースで皆様にお会いできることを楽しみにしています！

気軽に立ち寄って、たくさんお話ししましょう！



「心眼力 柔らかく燃えて生きる30の智慧」より

僕を支えた母の言葉

僕が3歳の時、父が亡くなり、そのあとは母が女手一つで僕を育ててくれた。仕事から帰ってきた母は疲れた顔も見せずに、晩ご飯を作ってくれた。晩ご飯を食べた後は内職をした。毎晩遅くまでやっていた。母が頑張ってくれていることはよく分かっていて。だけど、僕には不満も一杯あった。僕が学校から帰ってきても家に誰もいない。夜は夜で母は遅くまで内職。そんなに働いているのに、我が家は裕福ではなかった。遊園地にも連れて行ってもらえない。僕はいつしか母に強く当たるようになった。「おい」とか「うるせー」とか生意気な言葉を吐いた。それでも、母はこんな僕の為に頑張ってくれた。そしていつも僕に優しくした。

小学校6年の時、初めて運動会に来てくれた。運動神経の鈍い僕は、かけっこでビリだった。悔しかった。家に帰って母はこう言った。「かけっこの順番なんて気にしなくていい。おまえは素晴らしいんだから」だけど、僕の悔しさはおさまらなかった。

僕は学校の勉強も苦手だった。自分でも劣等感を感じていた。だけど、母はテストの点や通知表を見る度にやっぱりこう言った。「大丈夫。お前は素晴らしいんだから」僕には何の説得力も感じられなかった。「何が素晴らしいんだよ。どうせ俺はダメ人間だよ」それでも母は自信満々の笑顔で言った。「いつか分かる時が来るよ。おまえは素晴らしいんだから」

僕は中学2年生になったころから、仲間達とタバコを吸うようになった。万引きもした。母は何度も学校や警察に呼び出された。いつも頭を下げて、「ご迷惑をかけて申し訳ありません」と謝った。ある日のこと、僕は校内で事件を起こした。母は学校に来ていつものように謝った。教頭先生が言った。「お子さんがこんなに“悪い子”になったのはご家庭にも原因があるのではないですか」その瞬間、母の表情が変わった。母は、明らかに怒った目で教頭先生を睨みつけてきっぱりと言った。「この子は悪い子ではありません」その迫りに驚いた。教頭先生は言葉を失った。母は続けた。「この子のやったことは間違っています。親の私にも責任があります。でも、この子は悪い子ではありません」僕は思い切りビンタを食らったような衝撃を受けた。母はこんな僕の事を本当に素晴らしい人間だと思ってくれていたんだ。後で隠れて一人で泣いた。

翌日から僕はタバコをやめた。仲間達からも抜けた。その後、中学校を卒業した僕は高校に入ったが、肌合合わなくなって中退した。そして、仕事に就いた。その時も母はこう言うてくれた。「大丈夫。おまえは素晴らしいんだから」僕は心に誓った。「これから僕が頑張ってお母さんに楽しんでもらうぞ」だけど、なかなか仕事を覚えられなくて、よく怒鳴られた。「何度同じ事を言わせるんだ」怒鳴られる度に落ち込んだけど、そんな時僕の心には母の声が聞こえてきた。「大丈夫。おまえは素晴らしいんだから」この言葉を何度もかみしめた。そうすると、元気がわいてきた。「いつかきっと僕自身の素晴らしさを証明してお母さんに見せたい」そう考えると、僕はどこまでも頑張れた。

仕事を始めて半年くらい経った時、仕事を終えて帰ろうとしていたら社長がとんできて言った。「お母さんが事故にあわれたそう。すぐに病院に行きなさい」病院に着いた時母の顔には白い布がかかっていた。僕は何度も「お母さん！」と叫びながら泣き続けた。僕のために身を粉にして働いてくれた母。何を楽しみにして頑張ってくれてたんだらう？これから親孝行できると思っていたのに。葬式の後で親戚から聞いた。母が実の母ではなかった事を。実母は僕を産んだ時に亡くなっただけ。母はその事をいつか僕に言うつもりだったんだらう。もしそうなら僕はこう伝えたかった。「血はつながってなくてもお母さんは僕のお母さんだよ」

あれから月日が流れ、今改めて母にメッセージを送りたい。お母さん僕とは血が繋がっていなかったんだね。そんな僕の為に昼も夜も働いてくれたね。そして、お母さんはいつも言うてくれた。「おまえは素晴らしいんだから」その言葉はどんなに僕を救ってくれたか。あれから僕なりに成長して、今は結婚して子供もいるよ。規模は小さいけど、会社の社長になって社員達と楽しくやっているよ。まだまだ未熟な僕だけど、僕なりに成長してきたと思う。その成長した姿をお母さんに見せたい。「おまえは素晴らしい」と言うてくれたお母さん。その言葉は間違っていなかったという証拠を見せたかった。最近気づいたんだ。お母さんは最初から僕の素晴らしさを見てくれてたんだね。証拠なんてなくても心の目でちゃんと見てくれてたんだね。だって、お母さんが「おまえは素晴らしいんだから」って言う時はまったく迷いがなかったから。

僕も今社員達と接していて、社員の悪いところばかりに目が行ってしまうことがある。だけど、お母さんの言葉を思い出して、心の目で社員の素晴らしさを見直すようにしているんだ。そして、心を込めて言うようにしている。「きみは素晴らしい」おかげで、社員達と楽しく仕事をしているよ。これもお母さんのおかげです。

お母さん 血はつながってなくても、僕の本当のお母さん。ありがとう。

豆乳味噌うどん



材料（2人分）

- ・豚肉 100g
- ・椎茸 1~2個
- ・かまぼこ、油揚げ等 適量
- ・青ねぎ 少々
- ・ごま油 大さじ1
- ・和風だし 400ml
- ・豆乳 200ml
- ・みそ 大さじ1
- ・しょうゆ 小さじ1
- ・うどん 2玉

作り方

1. 豚肉は一口サイズ、椎茸・かまぼこは薄切り、油揚げは短冊切り、青ねぎは小口切りにします。
2. 鍋にごま油を熱し、豚肉をしっかり焼いて一度取り出しておきます。
3. 鍋に和風だしと椎茸や油揚げ等の具材をいれ、ひと煮立ちします。
4. ②の豚肉を鍋に入れ、豆乳とみそ、しょうゆを入れて沸騰しない程度に火を通します。（火を通しすぎると豆乳が分離するので注意）
5. うどんを湯がいて、④をかけ、上から青ねぎを散らして出来上がり。



今回は、寒い季節にぴったりな豆乳味噌うどんを作りました。豆乳を加えることによってマイルドな味わいとなります。おすすめの一品です。

栄養量（1人分） ・エネルギー 460 kcal ・たんぱく質 26 g ・食塩相当量 2.9 g



管理栄養士が伝える 料理教室

令和6年度 医療法人敬愛会 基本方針

- 1, 働きがいのある職場づくりを通して、医療の質の改善に努めます。
- 2, 地域での役割を自覚し、選ばれる病院を目指します。
- 3, 全職員が協力して安定した病院運営・経営が行える体制を築きます。

編集後記

2025年の今年には、日本は「国内総生産」（GDP）がインドに抜かれ世界5位になる予想です。1968年、日本はGDPでアメリカに次ぐ世界2位となり“経済大国”としての地位を築きました。しかし、2010年に中国に抜かれ3位となり、今年には5位になる可能性があります。「世界2位の経済大国」は今では遠い昔の話となりました。

1990年のバブル崩壊以降、企業の業績が悪化したことにより、人員削減（リストラ）や正規から非正規への雇用替えが進められました。当時は“就職氷河期時代”と言われ、新卒採用も大幅に削減され、日本の強みであった人材が後に育たず、経済のグローバル化に付いて行けず、日本製の製品が他の国の製品よりも売れなくなってしまいました。そして、日本企業は衰退して行きました。人材育成が思うように進められなかった事が原因で、国際競争力が低下したのが要因の一つと考えられています。世間では「リストラ」という言葉が盛んに使われていたのを記憶しています。

また当時“構造改革”の下進められた「医療費の削減・自己負担の増大」では、年金などの国民の将来的な“社会保障制度”への不安が加速し、個人消費も上がらなくなりました。以降、少子高齢化が進み、日本の人口減少は世界でも突出し、2004年に12,000万人あった人口が、2100年には5,000万人を割ると推測されています。

第2次世界大戦以降、高度成長を続けていた日本が2000年を境に様変わりしました。これからの日本を再建する道はあるのでしょうか？

まずは、今置かれている問題に皆が真摯に向合い、自身も含めた将来を考え、一人一人が活躍できる日本をもう一度構築できるように頑張ることだと思います。人材育成も再度、急ぐべきです。1990年から現在までの35年間を取戻す覚悟が必要です。アメリカの様に、“ジャパンファースト”を唱えるような政治家も出て欲しい気がします。当院も、将来の問題を含め、少しでも力になれるように、職員皆で考えて行きたいと思います。「人材育成」「人材確保」の重要性を改めて痛感します。（文章：H）

